

市長との約束 2025



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

市民協働推進部長

藤島 善光

約束内容	大崎市合併20周年記念事業の進め方の確定と事業の取りまとめ
達成目標	令和8年3月31日にて合併20年となることから、令和8年度を合併20周年イヤーとすることとしている。したがって、大崎市民、企業、団体で20周年慶事を享受し、更なる市政発展のために周年事業の進め方の確定と、取りまとめを行います。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	合併20周年事業の方向を纏め、更には事業の確定、ロゴマークの確定を済ませております。 また、3月31日には合併20周年を記した懸垂幕を掲揚することとしております。 今後は、市民皆様と、この慶事を享受する機運を高める啓発に努めてまいります。

約束内容	陸羽東線の活性化に向けた確実な事業推進と組織の立ち上げ
達成目標	陸羽東線の活性化を図るべく、市内の推進組織並びに広域的な連携組織を立ち上げ、昨年度末に策定したアクションプランを確実に推進してまいります。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	アクションプランに基づき、地域の方々に当事者として加わっていただき、確実に各種事業に取り組んでおります。 また、沿線の自治体と連携する組織についても3月16日に立ち上げ、沿線一体となって取り組む体制が整ったことから、更なる活性化に向けてしっかりと取り組んでまいります。

約束内容	行財政改革の進め方確定と、ロードマップの作成
達成目標	令和7年度から9年度まで集中的に行う行財政改革の進め方や、ロードマップを行政改革推進監と連携して確定し、目標値の設定並びに内外に向けた情報発信と説明を丁寧に行っていきます。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	行財政改革の取り組みの一環として実施した行政診断業務も順調に進んでおり、中間報告をいただいていることから令和8年度に策定予定のアクションプランのようなものの、策定準備に取り組まっております。 また、合併自治体特有の課題である公共施設の在り方についてを令和8年度で整理することとしておりますことから、年度末に成果としてあがってくる行政診断の結果とリンクして取り組めるよう現在はその準備に取り組まっております。

約束内容	標準システムへの安定移行
達成目標	令和3年に公布された「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」等に基づき、今年度中に「標準化基準に適合した20の基幹業務システム」への移行が義務づけられていることから、本市では年内に移行作業を完了させ、年明けの安定稼働に向け取り組んでまいります。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	昨年末に国が定める標準化システムへの移行が無事完了しております。国では、更なる標準化システムのメニュー拡大に向けた動きがあるので、情報収集に努め、次回の拡張事業の標準システム化に向けてしっかりと取り組んでまいります。

約束内容	農林業系汚染廃棄物の焼却処理完遂に向けたロードマップの作成
達成目標	東日本大震災時の福島原発の放射能事故による影響で発生した「農林業系汚染廃棄物」の焼却処理を、令和8年度中に完遂する旨、市民の皆様と約束を交わしていることから、確実に処理を完遂できるよう個別測定を前倒しし、残実数把握を行い期間内の適正な処理を進めるべくロードマップを作成します。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	昨年末に各種測定を済ませ令和8年度内の焼却処理に向けたロードマップを作成し、議会総務常任委員会への説明を経て、焼却関連施設の住民の方々と構成する協議会に対してもロードマップの内容を説明して理解をいただくことができました。